

光ミュージアム 年報 2021.12

HIKARU MUSEUM

第 13 号

令和 3 年

HIKARU MUSEUM



h-am.jp

目次

ごあいさつ

光ミュージアムの理念

テーマ「光」	4
地域に貢献できる博物館活動	4
生涯教育に役立つ博物館	4
国際交流の推進	4

施設概要

建築概要	5
施設の規模	5
フロアガイド	6

展示概要

常設展示	7
一階企画展示室	7
飛騨展示室	10
人類史展示室	14
美術展示室	20
特別展示	27
世界の仮面展	27

広重名所江戸百景～大江戸観光ツアー～	30
企画展示	32
日本の彩息づく伝統色～大観・松園・清方他～	32
守谷隆一写真展	34
須田剋太展	36
矢立と墨彩画	38

普及活動

一般向け活動	40
体験学習	40
外部連携活動	41
出張美術館	41
学校連携活動	43
岐阜女子大学 書道部練成会	43
その他連携活動	41
地域お仕事発見隊	41

資料貸出

貸出資料	44
------------	----

光ミュージアムは、平成 11 年 4 月の開館より 22 年を迎えさせていただきました。当館は平成 14 年より博物館法による「登録博物館」として活動を行っております。また、平成 29 年からは財団化し、「一般財団法人 光ミュージアム」として運営致しております。ここに年報第 13 号を刊行し、令和 3 年の事業報告を致します。

本年も新型コロナウイルス感染症が日本中で蔓延する中、高山市においても緊急事態宣言が発令され 9 月 5 日～9 月 15 日の間の休館を余儀なくされました。

そうした中ではありましたが、特別展としては「世界の仮面展」「広重名所江戸百景～大江戸観光ツアー～」を、また企画展として「日本の彩 息づく伝統色～大観・松園・清方他～」を行って参りました。

普及活動としては、教育委員会ならびに学校と連携して連年、小・中学校で行っている「出張美術館」が 18 年目を迎えました。また、大学との協力による岐阜女子大学文化創造学部書道教育コースの書道練成会も、10 年以上継続して開催しております。

お蔭さまで当館のコレクションに対し、国内外の美術館・博物館から作品・資料の出品や貸し出し依頼が増えており、これに応えて他館との連携も深めております。これからも、地域社会はもとより国際的にも貢献できる総合博物館として、事業・活動の充実を図って参りたいと存じます。これまでご協力を賜りました関係機関、関係者各位に心より厚く御礼を申し上げますと共に、今後とも当館に対し、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう謹みてお願い申し上げます。

令和 4 年 3 月 31 日

光ミュージアム

小林 秀明

光ミュージアムの理念

テーマ「光」

地球環境との対話が叫ばれる今日、生命エネルギーの根源である「光」をテーマに博物館活動を行なう。「光」のテーマは広範囲である。太陽からの光、自然からの光、化石等過去の物質からの光、人工的な過去の文明からの光、また、芸術・美術、人の心からの光など。こうした人類に向けて放たれる光を多方面にわたり

- 1 資料収集・保管
- 2 調査研究
- 3 資料・収蔵品の紹介・展示
- 4 教育普及活動

することにより、人類・社会の精神的・物質的な向上を目指すものとする。来館者が、長い年月の中で地球や人類が育んできた歴史をたどり、自然と人類が残した優れた美・芸術・文化に触れることにより、今後の生き方、未来へ歩む方向性を見出せるような活動を展開していく。

地域に貢献できる博物館活動

飛騨地域は、特有(古生代から新生代)の地層・地質・岩石・化石等を保有している。そこに住む人々の 歴史と伝統文化を紹介することにより、地域に融和した文化環境の向上を目指す。地元、飛騨地域(高山市を含む)を中心に、岐阜県及び中部地区に貢献できる社会教育施設として、博物館活動を展開していく。

生涯教育に役立つ博物館

老若男女を問わず、児童・生徒から大人まで気軽にご来館いただける公共施設として、生涯教育に役立つ総合博物館として、特に、今後の未来を担う青少年の知育向上のための教育施設として、広く一般に利用していただくことを目的とする。

国際交流の推進

世界古代文明の遺物や優れた芸術品を展示・紹介することにより、国際交流の推進並びに地域社会の国際 化にも貢献する。

そのため積極的に国際的な企画展を実施していく。

施設概要

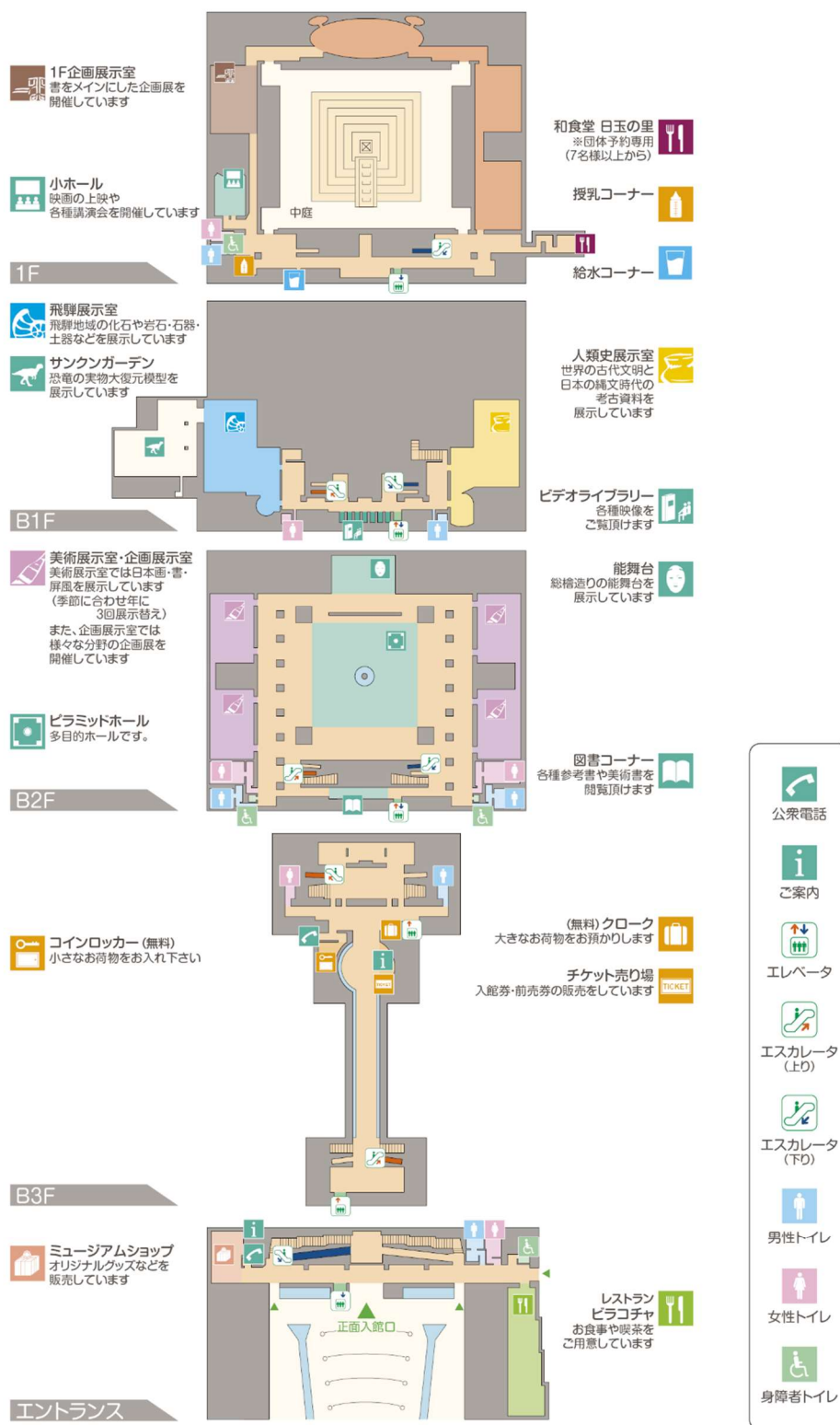
建築概要

所在地	岐阜県高山市中山町 175
地区・地域	第 2 種住居地域 教育文化地区
工期	着工:平成 5 年 6 月 23 日 竣工:平成 10 年 2 月 27 日 開館:平成 11 年 4 月 8 日
敷地面積	75,753.75m ² (22,915 坪)
建築面積	14,097.00m ² (4,264 坪)
建ぺい率	19.78%≦48.17%(地区計画)
延床面積	32,668.81m ² (9,882 坪)
容積率	45.84%≦76.34%(地区計画)

施設の規模

駐車台数	来館者用	乗用者 105 台 バス 27 台
	職員用	乗用車 66 台
見学ゾーン面積		
1 階	3,750.62m ² (1,135 坪)	
地下 1 階	2,812.12m ² (851 坪)	
地下 2 階	7,013.97m ² (2,122 坪)	
合 計	13,576.71m ² (4,107 坪)	
能舞台	1 舞台	
小ホール	108 席	
収蔵庫面積	1,534.62m ² (464 坪)	
図書室	30 席	
レストラン「ビラコチャ」	108 席	
和風レストラン「日玉の里」	82 席(団体予約専用)	
立礼席	32 席	
美術館棟の外形	101m×86m	
外部ピラミッドの高さ	20.7m(中央床面より)	
内部ピラミッドホールの天井高	21.7m(地下 2 階フロアより)	
可変床面積	1,353m ² (409 坪)	

フロアガイド



展示概要

常設展示

常設展「2021書コレクションⅠ」

開催期間

2021年2月27日(土)～8月16日(木)

作品点数

34点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	漢詩	市河米庵	江戸後期
2	漢詩「東召芳事已春深…」	巖谷一六	明治13～30年
3	蔵	上松一條	
4	九天	上松一條	昭和27～平成17年
5	女	大杉弘子	
6	極	柿下木冠	平成9年
7	漢詩	勝海舟	明治18年
8	「古への代々の文を…」	賀茂真淵	江戸中期(明和6年)
9	和歌	北川佳邑	
10	花	北畑観欄	
11	漢詩「寒煙沙月…」	日下部鳴鶴	明治13年頃～大正11年
12	蕭	小島碧雲	昭和～平成
13	宸翰御消息	後陽成天皇	桃山～江戸初期(天正19～元和3年)
14	新出	是永尚志	平成12年
15	酒酌与裴迪	齋藤香坡	
16	天心	酒井真沙	
17	坐看雲起	佐々木月花	
18	燕	佐々木泰南	昭和～平成
19	○	須田剋太	
20	伊都内親王願文	立石光司	平成8年
21	八風吹不動	土田帆山	昭和63年
22	香	手島恭六	平成25年
23	無事	戸田提山	平成7年
24	炎	戸田提山	平成6年
25	堀口大學の詩	濱田崇湖	平成10年
26	幽	原田圭泉	
27	感子標母恵	平方峰壽	
28	打坐	藤田金治	平成9年
29	勤皇志士	藤田小四郎	幕末
30	寿星拝日讃	皆川淇園(愿)	江戸中期

No	作品名	作家名	年代
31	女	矢萩春恵	平成 25 年
32	「蓬萊や」句幅	小林一茶	江戸後期
33	柿丸主人四季の句幅	桜井梅室	江戸後期
34	蕪村画賛「君行や」薄書	与謝蕪村	江戸中期

常設展「2021書コレクションⅡ」

開催期間

2021年 8 月19日(木)～12 月 16 日(木)

作品点数

34点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	「いまだひとり…」	青木香流	昭和 40 年代
2	優鉢羅花萬劫春	秋本耿雨	
3	「をぐら山…」	安東聖空	昭和初期
4	五言絶句	池大雅	江戸中期
5	連	伊藤欣石	昭和～平成
6	九天	上松一條	昭和 27～平成 17 年
7	蓮	上松一條	昭和～平成
8	天使の階段「兆」	大杉弘子	平成 8 年
9	極	柿下木冠	平成 9 年
10	漢詩	日下部鳴鶴	明治 13 年頃～大正 11 年
11	いろはにほへと(扇面)	齋藤香坡	昭和～平成
12	松島瑞巖寺葡萄木彫賛歌	島崎藤村	明治 30～昭和 18 年
13	和歌	鈴木翠軒	昭和 7～53 年
14	透	鈴木桐華	平成 3 年頃
15	篆刻文字	高澤翠雲	
16	光遠	竹内鳳仙	昭和～平成
17	漢詩	田代秋鶴	明治 37 年～昭和 21 年
18	神歌	手島小華	昭和 57 年頃
19	猿丸集断簡	伝 藤原行成	平安中期
20	汀	徳野大空	昭和 35 年
21	如	戸田提山	昭和～平成
22	神爽	中臺青陵	昭和 43 年
23	雲無心	中根海童	令和 2 年
24	焚香獨坐長松下	丹羽海鶴	明治 21 年～昭和 6 年
25	為	平方峰壽	平成
26	藤原定家自筆書状	藤原定家	平安末期～鎌倉初期

No	作品名	作家名	年代
27	和歌	町春草	平成 9 年頃
28	莊巖	松井玲月	平成
29	「鯰よ…」	南尚雲	昭和 62 年
30	女	矢萩春恵	平成 25 年
31	彫	山崎大抱	昭和 27～平成 3 年
32	家族愛	吉田玉雲	平成
33	漢詩「冬頗暄暖開…」	頼山陽	江戸後期
34	香	手島恭六	平成 14 年

1. 展示目的

現代の人類社会を支える自然が現在の姿になるまで、人類を含む全ての生命が果たしてきた役割と環境の変化を紹介する。

いつの時代においても 1 つ 1 つの生命には役割があり、一切無駄無く配置されている。生命と環境の長い歴史と積み重ねを知ることにより、自然をかけがえのないものとして再認識し、慈しむ心を育てる。

2. 展示内容

飛驒は古生代の福地層、中生代の手取層群、新生代の火砕流推積層等各年代の地層や岩石が露出していることで有名である。

飛驒の実物資料を通して、地球の自然界における普遍真理を捉え、一切無駄無く培われた生命の役割と命の尊さ、環境との関わり等を紹介している。

展示は飛驒産出の化石・岩石に考古資料を加え、古生代から現代までの飛驒の歴史と生命の関わりを提示している。地球環境を形成してきた命の大切さをどの年代層へも伝えられるよう、復元模型やジオラマに力を入れた。特に植物ジオラマは、葉脈に至るまで化石を元に忠実に復元している。

〈輝く生命の星〉

導入部には宇宙から見た地球を表現した模型を設置し、宇宙飛行士が見た地球の美しさと不思議さを疑似体験する試みを行っている。

※展示手法

○地球模型

○100 インチモニター映像

○実物資料：隕石

〈古生代〉

飛驒にある古生代の地層からは、サンゴをはじめとする海の生き物の化石が数多く発見されている。

これらの原始生物は何億年もかけて、生命の星とよばれる地球環境をつくったといわれている。

これらを垣間見ると、それぞれが理想的な共生関係を保って繁栄を遂げたことが理解できる。このゾーンでは飛驒産出の化石を時代毎に展示するとともに、示相化石・示準化石や地層累重の法則などの基礎的な内容を学べるよう展示をしている。

※展示手法

- 実物資料…海生動物化石・岩石
- 岩盤模型…実物資料を用いて福地層デボン紀の露頭を再現した
- ジオラマ…「シルル紀」「デボン紀」「石炭紀」「ペルム紀」の海の様子を復元した
- ミラービジョン…映像

〈中生代〉

飛騨地域にまたがる中生代の地層「手取層群」は恐竜や植物化石を多く産出することで知られている。海から陸、湖、川、空へと生活環境を広げ、動物と植物が共生しながら繁栄を遂げ、中生代の生活環境をつくったことを伝える。

※展示手法

- 実物資料…陸上植物化石・海生動物化石等
- ジオラマ…手取型植物群を原寸大で葉脈に至るまで、精巧に復元した
- 恐竜模型…手取層群から発見されたスギヤマリュウ・カガリュウの原寸大復元模型

〈新生代〉

飛騨地方では新生代のはじめから約 300 万年前までの間の地質現象を示す地層や化石が発見されていない。飛騨の山々は、それ以降にはじまった火山活動とプレート運動によって形成されたと考えられる。大地に残された痕跡から激しい変動の様子を伝える。

また、新生代は哺乳類が繁栄したことで特徴づけられ、その中には人類も含まれる。他の生物と違い、人類は道具を生み出し用いることで自然環境に適応してきた。用途ごとに適した素材を選び分け、活用してきた人類と自然環境との関わりを、素材を通して紹介する。

※展示手法

- 実物資料…岩石、石器、土器
- 映像模型…噴火と再生の様子を紹介

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習をする場とする。

※学習手法

- 体験学習室・多目的スペース ……ワークショップを行う。

恐竜の歯を展示。

学習映像を放映。

監修・協力

全体監修：(故)猪郷久義(筑波大学名誉教授)

真鍋真(国立科学博物館副館長) 下畑五男(元岐阜県博物館館長)

久保貴志、三宅幸雄(敬称略)

展示資料数

古生代：化石 66 点 岩石 6 点

中生代：化石 27 点

新生代：岩石 12 点 その他 59 点

企画展 鉱物コレクション展 ～おもしろい！ワケありこうぶつ事展～

開催期間

2021年 2 月 27 日(土)～12月16日(木)

展示点数

21点

展示概要

高橋書店の「ざんねんな いきもの事典」という書籍が小学生の間でベストセラーとなった。これは、生き物の生態を面白可笑しくクローズアップした解説文に加えイラストに擬人化した絶妙なセリフが描いてあり、大変生き物に興味の持てる内容だと感じた。

そこで、二番煎じではないが、当館の鉱物コレクションも同じテイストで紹介すれば、興味をもってもらえるのではないかと思います企画した。

当館所蔵の鉱物の中から 21 点を選び、面白エピソードに加え擬人化したイラストとセリフを一つのキャプションボードにして展示した。また、エピソードを補完するようなものがあれば併せて展示をした。例えばザクロ石の横にはガーネットを使用した紙やすりなどを置き、生活の中に活用されている例を展示に取り入れた。

No	鉱物名
1	ガーネット
2	雲母
3	黄鉄鉱

No	鉱物名
4	アクアマリン
5	胆ばん
6	翠銅鉱
7	燐灰石
8	トルコ石
9	バリッシャー石
10	硫黄
11	シャタック石
12	瑪瑙
13	アメシスト
14	シトリン
15	ルビー
16	サファイア
17	天青石
18	蛍石
19	石膏
20	自然銅
21	ウルフェナイト

1. 展示目的

展示は、人類が共通して持つ普遍の心、『崇める心』をテーマにした。

古来より人類は自然を畏れ尊び、人間の知恵と力の及ばないところに神の世界があると考え、崇める心を培ってきた。豊かな文化や現代にまで残る遺産といった古代文明の所産は「崇める心」の象徴であり、現代文明においても人々の心のよりどころとなっている。また、先人の努力があって我々も今日の生活を営めるのであり、何千年も前から現代にまで通じる文化の共通性・独自性を知ることは、今後の文化・文明を考える上でも重要である。

ダイナミックな造形を生んだ世界各地の文化遺産の展示を通して、21 世紀を生きる現代人の視野を広げ、文明を育む原動力となった人類の心を問う場を提供している。

2. 展示内容

人類史展示室では、世界各地の考古資料を各文明・文化ごとにまとめた展示を行っている。旧石器時代から世界の 7 つの文明と日本の縄文時代について、その全体像と精神性を実物資料、模型、解説パネル、映像、ミラービジョン等によって紹介している。

『崇める心』をテーマに人類の心を探り、その帰結としての諸文明を提示している。

〈旧石器時代〉

約 400 万年以上前から世界各地に広がった人類は、厳しい自然環境に適応しつつ豊かな文化を育んでいった。

火の使用、石器の加工技術、豊穡や秩序を祈る洞窟壁画等を通して、旧石器時代の人々の『崇める心』を中心に紹介している。

※展示手法

○実物資料…旧石器。

○縮小模型…旧石器時代の洞窟壁画。

〈世界の古代文明〉

約 1 万年前頃から、世界各地に文明・文化が興っていった。古代文明展示の導入として大型の地図・年表を配置し、7 つの文明と日本の縄文時代の地理的・時代的な位置関係を一覧できるよう工夫した。

各文明に見られる環境や遺跡・遺物を一堂に見ることで、それぞれの相違点や普遍性を垣間見ることができる。

※展示手法

○世界地図にモニターや展示ケースを配置し、各文明の気候風土・代表的な遺跡・遺物を映像や資料で一覧できるようにしている。

〈古代文明〉

紀元前 3000 年頃より栄えた世界的にもよく知られる 7 つの文明を、コーナーごとに分けて展示している。

世界各地の古代文明を社会のあり方や建築、実物資料の造形や紋様等、多方面から見つめ、比較することで、それぞれの文明を支えた人々の宗教観・死生観を探り、人類の未来を模索できるようにしている。

※展示コーナー

- ①メソポタミア文明
- ②ギリシア・地中海文明
- ③エジプト文明
- ④メソアメリカ文明
- ⑤中国文明
- ⑥インダス・インド文明
- ⑦アンデス文明

※展示手法

○実物資料…保存状態の良好な副葬品の展示。特に中・南米は当時の人々の精神性を伝える土器や、布製品等の一級資料で充実している。

○グラフィック…大型写真パネル、地図・年表、解説文を全文明統一した手法で配置している。

○模型資料…当時の人々の精神性を伝える神殿縮小模型(ウルのジグラット・パルテノン神殿・ティカール神殿)、三内丸山遺跡の復元模型、巨木柱等を設置している。また、アンデス文明『太陽の門』の精巧な原寸大の模型は、現地の天野博物館にご協力いただいた資料を元に作成したものである。

〈縄文〉

縄文時代は近年の発掘・調査・研究により、その生活水準の豊かさが見直され、現在でも新たな発見が相次いでいる。

自然と共に生き、1 万年以上もの間続いた縄文時代の全体像を提示し、同時期に栄えた世界の文明と共に展示している。

※展示手法

○実物資料…土偶、土器、石製品。

○レプリカ…木製品、土器。

○ミラービジョン…三内丸山遺跡の 5500 年前と発掘時の様子を縮小模型で重ねて見せる。盛土模型、巨木柱模型、縄文時代の紹介映像

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習する場とする。

※学習手法

○スタンプラリー…展示室内にスタンプを設置し、各文明の建物や器・土偶などのスタンプを押せるようにしている。

資料名	地域	時代	年代
青銅製コブ牛像	イラン		アムラッシュ
地母神土偶	シリア		
文字付きレンガ	西アジア	新バビロニア時代	紀元前 625～紀元前 539
双耳壺	シリア		
土偶	イラン西部～アゼルバイジャン		
羊頭付手提壺	中東 アムラッシュ		紀元前 2000 年
金属製コップ	シリア？		
女神像	東部地中海	ヘレニズム文化	
アンフォラ型瓶	東部地中海	ローマ時代	
フクロウ・植物文様鉢	イタリア	エトルスク文化	紀元前 8～紀元前 3 世紀頃
渦巻型クラテル	ギリシア		
スキュフォス	ギリシア		紀元前 3 世紀
飾り壺	イタリア カノッサ		紀元前 3 世紀
アンフォラ	イタリア～ギリシア		
黒絵式三足土器	イタリア		
馬文様把手付き壺	北イタリア	ヴィラノーバ文化	紀元前 900～紀元前 700 年頃
青銅製手	北イタリア	ヴィラノーバ文化	紀元前 900～紀元前 700 年頃
鳥形土偶	イタリア カノッサ	グレコ・ローマン文化	
青銅製天使像	地中海地域	ローマ時代	
渦巻き文様双耳壺	エジプト	先王朝時代	
化粧容器	エジプト	新王国時代	紀元前 1539～紀元前 1077 年

資料名	地域	時代	年代
トキ像	エジプト	末期王朝時代	紀元前 772～紀元前 332 年
石製容器	エジプト	古王国時代	紀元前 2543～紀元前 2118 年
石製容器	エジプト	新王国時代	紀元前 1539～紀元前 1077 年
化粧ペン	エジプト	新王国時代	紀元前 1539～紀元前 1077 年
呪術板	エジプト	プトレマイオス朝	紀元前 332～紀元前 30 年
聖魚像(オキシリニコス)	エジプト	プトレマイオス朝	紀元前 332～紀元前 30 年
青銅製コブラ像	エジプト		
ジェセル王墓の壁面装飾タイル	エジプト	古王国時代 第3王朝	紀元前 2686～紀元前 2613 年
神官文様双耳壺	グアテマラ、南部	古典期後期	550～830 年
文字石彫	マヤ低地	古典期後期	550～830 年
ゴーストル目石彫	メキシコ	後古典期	950～1200 年
人物形オカリナ	中米		
神官・ジャガー文様三足皿	マヤ中部低地	古典期後期	550～830 年
ジャガー付き香炉	グアテマラ高地アティトラン湖中	古典期後期	550～830 年
人物形香炉	グアテマラ高地アティトラン湖中	古典期後期	550～830 年
戦士土偶	メキシコ	マヤ古典期	250～830 年
猫科動物文様鍍形壺	ペルー北部海岸	クピスニケ文化	紀元前 1200～紀元前 800 年
神面文様ケー口	ボリビア、チチカカ湖	ティワナク文化	500～1150 年
人物形壺	ペルー北部海岸	シカン文化	700～1375 年
銀製装飾品	ペルー	インカ文化	1430～1532 年
猫科動物文様布	ペルー南部海岸	パラカス文化	紀元前 400～1 年
魚を獲る人物石彫	ペルー北部海岸	モチェ文化	100～850 年
青銅製鈴	ペルー北部海岸	チムー文化	900～1470 年
魚文様刺繍布	ペルー南部海岸	ナスカ文化	1～750 年
仏像手部	インド ガンダーラ	クシャーナ朝	1 世紀～3 世紀
幾何学文様土器	タイ	バンチェン文化第Ⅲ相	
青銅製鑿	北インド ウトラ パラデシュ		
動物・幾何学文様壺	インダス谷	ハラッパ文化	紀元前 2000 年頃
女性土偶	アフガニスタン	ハラッパ文化	紀元前 2000 年頃
猫科動物像			
市松文様コップ	パキスタン バローチスタン丘陵 メヘルガル	インダス文明	紀元前 2600～紀元前 1800 年
緑釉壺	中国	後漢	25～220 年
馬灰釉俑	中国	唐	618～907 年
天人像石彫	中国 北斎	南北朝 北斎	550～577 年

資料名	地域	時代	年代
八花鏡	中国	唐～宋代	7世紀～13世紀
馬高式土器		縄文中期	紀元前 3500～紀元前 2400 年頃
阿玉台式土器		縄文中期	紀元前 3500～紀元前 2400 年頃
円筒下層 c 式土器		縄文前期後半	紀元前 4100～紀元前 3500 年頃
称名寺1式土器		縄文後期前半	紀元前 2400～紀元前 1800 年頃
遮光器土偶	東北地方	縄文晩期後半	紀元前 2400～紀元前 1800 年頃
遮光器土偶	東北地方	縄文晩期前半	紀元前 1200～紀元前 800 年頃
遮光器土偶	東北地方	縄文晩期前半	紀元前 1200～紀元前 800 年頃
遮光器土偶 足	東北	縄文晩期	紀元前 1200～紀元前 400 年頃
磨製石斧	日本	縄文中期	紀元前 3500～紀元前 2400 年頃
磨製石斧	日本	縄文中期	紀元前 3500～紀元前 2400 年頃
石鏃	日本 関東	縄文晩期	紀元前 1200～紀元前 400 年頃
石鏃	日本 関東	縄文晩期	紀元前 1200～紀元前 400 年頃
石鏃	関東	縄文晩期	紀元前 1200～紀元前 400 年頃
石鏃	日本	縄文	
石鏃	日本	縄文	
石鏃	日本	縄文	
横型石匙	日本	縄文	
横型石匙	日本	縄文	
弓筈飾	日本	縄文	
骨角製匙	日本	縄文	
骨角製銚頭	日本	縄文～弥生	
牙製勾玉	日本	縄文	
歯牙	日本	縄文	
翡翠製垂飾珠	日本	縄文中～後期	紀元前 3500～紀元前 1200 年頃
翡翠製大珠	日本	縄文後期	紀元前 2400～紀元前 1200 年頃
翡翠製垂飾珠	日本	縄文中～後期	紀元前 3500～紀元前 1200 年頃
石棒	日本	縄文後～晩期	紀元前 2400～紀元前 400 年頃
石棒	日本	縄文後～晩期	紀元前 2400～紀元前 400 年頃

資料名	地域	時代	年代
石刀	日本	縄文晩期	紀元前 1200～紀元前 400 年頃
独古石	日本	縄文後期	紀元前 2400～紀元前 1200 年頃
貝輪	日本	縄文	
貝輪	日本	縄文	
貝輪	日本	縄文晩期	紀元前 1200～紀元前 400 年頃
袈裟櫛文銅鐸	日本	弥生～古墳	紀元 400～700 年頃
銅戈	日本 佐賀県	弥生	紀元 400～300 年頃
人物埴輪	日本	古墳	300～700 年頃
鶏頭鈴飾り	日本 群馬県	古墳	300～700 年頃
頭椎太刀	日本	古墳後期	6 世紀
勝坂式土器	日本 関東地方	縄文中期前半	紀元前 3500～紀元前 3000 年頃
弥生土器	日本 九州地方	弥生後期	100～300 年頃
土師器	日本	古墳前期	4 世紀
須恵器	日本	古墳	300～700 年頃

常設展「2021日本画コレクションⅠ」

開催期間

2021年6月19日(土)～9月6日(月)

作品点数

20点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	美人納涼図	上村松園	大正時代
2	木陰唐子	上村松園	明治30～40年代
3	お稽古	鐔木清方	昭和4年
4	夏姿	鐔木清方	昭和15年
5	鯉	加山又造	昭和40年代後半
6	湖山月明	川合玉堂	昭和2年
7	竜神図	河鍋暁斎	明治初期
8	金鞍白馬	川端龍子	昭和25年頃
9	蝗	木村武山	明治33年頃
10	雀の宿	小杉放庵	昭和15年
11	年	杉山寧	昭和44年
12	臨水観音丈土図	高森碎巖	明治28年
13	龍虎図	伝 牧谿	文永6年頃
14	松泉清聴の図	橋本閑雪	明治～昭和
15	湖辺	菱田春草	明治35年
16	夜摩天	村上華岳	大正10年
17	百合	山口華楊	昭和40年代後半
18	夏の山路	山元春挙	明治
19	竹林	横山大観	昭和29年頃
20	不二霊峰	横山大観	昭和11年頃

常設展「2021日本画コレクションⅡ」

開催期間

2021年9月11日(土)～12月16日(木)

作品点数

21点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	秋晴	伊東深水	大正～昭和 47 年
2	三美人之図	上村松園	明治 41 年
3	松上鷹	小茂田青樹	大正～昭和 8 年
4	野路の玉川 萩花に美人の図	鎬木清方	大正頃
5	飛騨真秋	久保嶺爾	平成 2 年
6	雪の大原	小松 均	平成元年
7	新雪	酒井三良	昭和 24～25 年
8	柘榴小禽図	榊原紫峰	大正 12～13 年頃
9	聖観自在菩薩	佐多芳郎	昭和 59 年
10	月下漁夫図	谷文晁	江戸後期(寛政 8 年)
11	冬響(富士)	常岡幹彦	昭和～平成
12	秋鹿	中川一政	昭和～平成
13	猛虎	中原南溪	江戸後期
14	峻峰	中村岳麓	昭和 38 年
15	溪村庵霽図	橋本雅邦	明治
16	赤家富	橋本明治	昭和 39 年頃
17	渡舟図 Ferryboat	菱田春草	明治 33 年頃
18	舞妓	三輪良平	昭和～平成
19	暁暎	横山大観	昭和 19 年
20	翔ける	加山又造	昭和 62 年
21	市川鯉蔵の竹村定之進	東洲斎写楽	江戸後期(寛政 6～7 年頃)

常設展「2021肉筆浮世絵コレクション I」

開催期間

2021年6月19日(土)～9月 6 日(月)

作品点数

13点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	縁台美人	歌川久信	江戸後期
2	屋内婦女遊宴	作者不詳(奥村派)	江戸中期
3	蚊帳美人	作者不詳(懐月堂派)	江戸中期
4	初世水木辰之助	作者不詳(初期肉筆浮世絵諸画人)	江戸中期(元禄頃)
5	立ち美人	作者不詳(西川派)	江戸中期(元禄～享保頃)
6	虫籠を持つ美人	作者不詳(西川派)	江戸中期(元禄～享保頃)

No	作品名	作家名	年代
7	縁先美人	作者不詳(西村・石川派)	江戸中期
8	泉の水	月岡雪斎	江戸中～後期(安永～天保10年)
9	太夫と禿	菱川師房	江戸前～中期
10	柳下納涼	古山師政	江戸中期(宝永～延享)
11	柳下納涼	宮川一笑	江戸中期
12	汐汲み	宗辰	江戸中期
13	舟遊び	楽々斎雌雄	江戸後期(天明頃)

常設展「2021肉筆浮世絵コレクションⅡ」

開催期間

2021年9月11日(土)～12月16日(木)

作品点数

12点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	見立井手の玉川	歌川国久	江戸後期(享和～文化)
2	雪見酒	作者不詳(川又派)	江戸中期
3	三味線美人	作者不詳(鳥居派)	江戸中～幕末(元禄～慶応3年)
4	本読み美人	作者不詳(鳥居派)	江戸中～幕末(元禄～慶応3年)
5	美人立姿	作者不詳(西村・石川派)	江戸中期
6	文読む美人	作者不詳(西村・石川派)	江戸中期
7	閻魔と美人	作者不詳(菱川派)	江戸前～中期
8	雪中美人	鳥園斎 栄深	江戸後期(寛政～享和頃)
9	仲居	月岡雪鼎	江戸中期(安永5年)
10	立ち美人	東川堂里風	江戸中期
11	官女	菱川師宣	江戸前～中期(万治～元禄7年)
12	追い羽根	宮川長春	江戸中期(宝永～寛延頃)

常設展「2021西洋画コレクション」

開催期間

2022年2月27日(土)～12月16日(木)

作品点数

31点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	風景	Ferdinand Lucas Bauer	
2	アメリカ人闘牛士 マリアノ・セバージョス	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	1840 年頃～70 年
3	聖衣剥奪	エル・グレコ 工房	17 世紀初頭
4	スピリアート夫人	カレル・ヴァン・ベル	1920 年
5	椿	岸田劉生	昭和 2 年
6	波	ギュスターヴ＝クールベ	1869 年
7	熊の湯雪景	熊谷守一	昭和 12 年頃～昭和 52 年
8	ジヴェルニーの草原、朝	クロード・モネ	1888 年
9	暑中休暇の校庭	坂本繁二郎	大正 4 年
10	岸辺の小舟(ヴィル・ダブレー)	ジャン＝バティスト＝カミユー・コロー	1865～70 年頃
11	木を拾う人	ジャン＝バティスト＝カミユー・コロー	1855 年頃～75 年
12	川の女神の姿をした婦人の肖像	ジャン＝マルク・ナティエ	18 世紀
13	キリストの洗礼	ジョルジュ・ルオー	1918 年頃～1958 年
14	冠鶴	須田国太郎	昭和 16 年
15	千種百合	中川一政	昭和 20 年頃～平成 3 年
16	粧える女	林武	昭和 28 年
17	柳のある川の風景	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	1874～76 年頃
18	ネックレスの娘	東山紗智子	
19	洗濯をする農婦	フィンセント・ファン・ゴッホ	1885 年頃
20	海	藤島武二	昭和 8 年
21	ルバティエールのレジューヌ	ベルナール・カトラン	1984 年
22	アフリカの花	三岸節子	1973(昭和 48)年 8 月
23	赤い花	三岸節子	1926 (昭和元) 年頃～1999(平成 11)年
24	婦人像	宮本三郎	昭和 36 年
25	木蓮のある静物	武者小路実篤	1927(昭和 2)年頃～1976(昭和 51)年
26	ボースの風景	モーリス・ド・ヴラマンク	1940 年
27	海	モーリス・ド・ヴラマンク	1908 年頃～55 年
28	ラ・フェルテ・ミロン城	モーリス・ユトリロ	1939 年頃
29	栗とレンガと猿のこしかけ	山口薫	昭和 25 年頃～昭和 43 年
30	オルフェーヴル河岸	ロルフ・ラフスキー	
31	季節の鳥	脇田和	昭和 30 年～平成 10 年頃

常設展「2021コレクション」

開催期間

2021年2月27日(土)～12月16日(木)

作品点数

77点

展示作品

No	作品名	作家名	年代
1	祈り	安江観山	平成 23 年
2	「7 つの音楽」より	有元利夫	昭和 53 年
3	水の精霊	今井俊満	昭和 57 年
4	火の精霊	今井俊満	昭和 57 年
5	風景	豊田寿生	
6	ふるさとの民家	長谷川正子	
7	虹	安達靖子	
8	時間	安達靖子	
9	切付札二枚胴童具足	作者不詳	江戸中期
10	無題	武政健夫	平成 19 年
11	無題	武政健夫	平成 19 年
12	太陽	挾土秀平	平成 28 年
13	太刀銘康次	康次	鎌倉時代(建暦頃)
14	風景	N.Weil	
15	無題	ジェームズ コワニヤール	
16	ブラックホース	ジャン ティエフェン	
17	モノグラム	エミール＝アントワーヌ・ブールデル	1921 年(原型制作)1970 年代前半(鑄造)
18	雄弁	エミール＝アントワーヌ・ブールデル	1913～1923 年
19	自由	エミール＝アントワーヌ・ブールデル	1913～1923 年
20	勝利	エミール＝アントワーヌ・ブールデル	1913～1923 年
21	力	エミール＝アントワーヌ・ブールデル	1913～1923 年
22	アマゾン 3	奥村信之	
23	天女の飛翔	北村西望	
24	生命シリーズ～陽光から宇宙へ～	剣持忠	
25	生命シリーズ～二つの再生～	剣持忠	

No	作品名	作家名	年代
26	華丘	澤田政廣	昭和 52 年頃
27	裸婦	清水 多嘉示	
28	少年・青い花	ズビネック・セカール	1957 年
29	半身像	ズビネック・セカール	1964 年
30	文字	ズビネック・セカール	1968 年
31	胸像	ズビネック・セカール	1988 年
32	無題	ズビネック・セカール	1988 年
33	無題	ズビネック・セカール	1992 年
34	トルソ	ズビネック・セカール	1959 年
35	柱	ズビネック・セカール	1967 年
36	晴日	富永直樹	
37	少女像	富永直樹	
38	ヌクトマル	流政之	
39	プライド	コンスタンティン・ブランクーシ	1905 年頃
40	殺すことのできない人間	フレデリック・フランク	
41	母子	三坂 耿一郎	
42	三人の人物1	アウレリア・ムニョス	1971 年
43	三人の人物2	アウレリア・ムニョス	1971 年
44	三人の人物3	アウレリア・ムニョス	1971 年
45	共同的存在	アウレリア・ムニョス	1976 年
46	白い海	アウレリア・ムニョス	1986 年
47	テーブル	イヴ・クライン	
48	y-古代夢幻	池田満寿夫	平成 5 年
49	y-頭龍	池田満寿夫	平成 4 年
50	y-青笛川	池田満寿夫	平成 6 年
51	旅人	池田満寿夫	
52	神話	池田満寿夫	
53	浦島	池田満寿夫	
54	万葉人	池田満寿夫	
55	舍利	池田満寿夫	
56	NO,210	須田剋太	
57	NO,211	須田剋太	
58	流動する体験	須田剋太	昭和 35 年
59	瘢痕	ズビネック・セカール	1976 年
60	無題	ズビネック・セカール	1976~77 年
61	夏至	ポール・ジェンキンス	1982 年
62	ミツマタ備長炭オブジェ	保坂桂一	Heisei period, 2001
63	天童大黒童子	藪内 佐斗司	平成 21 年
64	太刀 銘 了戒	了戒	鎌倉時代(延慶頃)
65	童子龍乗仙人図	尾竹国観	明治 30 年
66	牛像	圓鐔勝三	昭和
67	ランプ	ドーム兄弟	1875-1930 年頃
68	風神雷神図	棟方志功	昭和 21 年
69	七宝装飾拵	作者不詳	幕末~明治

No	作品名	作家名	年代
70	朝顔文のれん絵	芹沢銈介	昭和 40 年
71	光の字文のれん	芹沢銈介	昭和
72	太刀 銘 康次	康次	鎌倉時代(建暦頃)
73	松平宗矩公着用 切付 札二枚胴童具足		江戸中期
74	無題	武政健夫	平成 19 年
75	無題	武政健夫	平成 19 年
76	虹	安達靖子	
77	時間	安達靖子	

特別展示

特別展「世界の仮面展」

開催期間

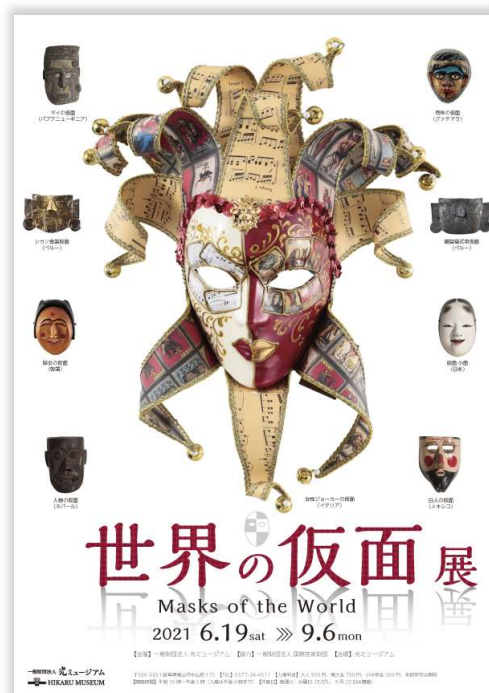
2021年6月19日(土)～9月6日(月)

作品点数

89点

協力

一般財団法人 国際芸術財団



展示概要

仮面は紙、土、木、布、皮、金属などで作った面で、神、精霊、死者、鬼などの超自然的な存在や、他人に化けるための道具です。動物に擬装するための狩猟用、敵を威嚇し頭部を保護するための戦争用、あるいは農耕社会での雨乞いや豊穡祈願用、傷や病気の治癒祈祷用、葬祭や成人式などの信仰・儀礼用、そのほか演劇や舞踏といった芸能用の仮面もあります。民族・人種・地域・時代の異なる様々な仮面が見せる表情には、その土地の風土や歴史が刻まれているといえます。

本展では、日本や世界各地のユニークで多彩な仮面を比較・紹介し、奥深い仮面の魅力をお楽しみいただきました。

展示作品

No	資料名	地域(広域)	地域(詳細)
1	鼻曲がり土面(レプリカ)	日本	岩手県一戸町蒔前遺跡
2	民俗仮面もしくは古い能面『鬼神面』	日本	
3	『ナマハゲ』	日本	秋田
4	『ナマハゲ』	日本	秋田
5	『須佐之男命』	日本	
6	能面『猩々』	日本	
7	能面『小面』 向正運作	日本	
8	能面『黒式尉』 小倉宗衛作	日本	
9	土面 石田外茂一作	日本	
10	青銅製仮面	アジア	中国 三星堆遺跡
11	両班の仮面	アジア	韓国

No	資料名	地域(広域)	地域(詳細)
12	婦女の仮面	アジア	韓国
13	鳥仮面	アジア	ブータン
14	ネワール族の女性仮面	アジア	ネパール
15	青年の仮面	アジア	バングラディッシュ
16	人物の仮面	アジア	セイロン島
17	猿の王ハヌマン仮面	アジア	タイ
18	ナラヤナ神の仮面	アジア	タイ バンコク
19	人物の仮面	アジア	タイ
20	ガジャマダ將軍の仮面	アジア	インドネシア
21	人物の仮面	アジア	ネパール
22	人物の仮面	アジア	ネパール
23	仮面	アジア	ネパール
24	仮面	アジア	ネパール
25	小巫の仮面	アジア	韓国
26	酔癡の仮面	アジア	韓国
27	京劇『孫悟空の仮面』	アジア	中国
28	京劇『猪八戒の仮面』	アジア	中国
29	マイの仮面	オセアニア	パプアニューギニア
30	マイの仮面	オセアニア	パプアニューギニア
31	ロノの聖職者の仮面ヘルメット	オセアニア	ハワイ
32	金製仮面	アメリカ	ペルー
33	銀製仮面	アメリカ	ペルー
34	青銅製仮面	アメリカ	ペルー
35	銀製仮面	アメリカ	ペルー
36	箱型帽子付き羽根人面	アメリカ	ペルー
37	チャンカイ文化のミイラマスク	アメリカ	ペルー
38	ワリ文化のミイラマスク	アメリカ	ペルー
39	木製仮面	アメリカ	ペルー
40	人物の仮面	アメリカ	ペルー カシナウワ村
41	悪魔の仮面	アメリカ	ボリビア
42	スタッコ製トラロック面	アメリカ	メキシコ
43	スタッコ製人面	アメリカ	メキシコ
44	ジャガーマスク	アメリカ	メキシコ
45	仮面	アメリカ	メキシコ
46	人物の仮面	アメリカ	メキシコ
47	人物の仮面	アメリカ	グアテマラ
48	人物の仮面	アメリカ	グアテマラ
49	牛の仮面	アメリカ	
50	ジャガーの仮面	アメリカ	グアテマラ
51	悪魔の仮面	アメリカ	メキシコ
52	悪魔の仮面	アメリカ	グアテマラ
53	人物の仮面	アメリカ	メキシコ
54	悪魔の仮面	アメリカ	メキシコ
55	ジャガーの仮面	アメリカ	メキシコ
56	動物の仮面	アメリカ	メキシコ ナヤハー州ヘスス・マリア村コラ族
57	白人の仮面	アメリカ	メキシコ
58	仮面	アメリカ	メキシコ

No	資料名	地域(広域)	地域(詳細)
59	悪魔の仮面	アメリカ	メキシコ
60	悪魔の仮面	アメリカ	メキシコ
61	人物の仮面	アメリカ	メキシコ
62	人物の仮面	アメリカ	
63	仮面	アメリカ	メキシコ
64	動物の仮面	アメリカ	メキシコ
65	悪魔の仮面	アメリカ	メキシコ
66	悪魔の仮面	アメリカ	メキシコ
67	悪魔の仮面	アメリカ	メキシコ
68	悪魔の仮面	アメリカ	メキシコ
69	カラスの仮面	アメリカ	カナダ
70	ミイラマスク	アフリカ	エジプト
71	木棺マスク	アフリカ	エジプト
72	人物の仮面	アフリカ	
73	フクワコンゴ ブワミ結社の仮面	アフリカ	
74	ブヌ族の仮面	アフリカ	
75	仮面	アフリカ	
76	ソンゲ族の仮面	アフリカ	
77	動物の仮面	アフリカ	
78	仮面	アフリカ	
79	人物の仮面	アフリカ	
80	人物の仮面	アフリカ	
81	仮面	アフリカ	
82	仮面	アフリカ	
83	仮面	アフリカ	
84	コメディフランセーズの仮面	ヨーロッパ	フランス
85	太陽と月の仮面	ヨーロッパ	イタリア ベネチア
86	帽子の貴婦人の仮面	ヨーロッパ	イタリア ベネチア
87	ピロードの貴婦人の仮面	ヨーロッパ	イタリア ベネチア
88	女性ジョーカーの仮面	ヨーロッパ	イタリア ベネチア
89	蝶の様相の仮面	ヨーロッパ	イタリア ベネチア

特別展「広重名所江戸百景～大江戸観光ツアー～」

開催期間

2021年9月16日(木)～12月16日(木)

作品点数

41点

協力

一般財団法人 国際芸術財団



展示概要

『名所江戸百景』は、歌川広重が幕末の1856～58年(安政3～5)年に手掛けた119景におよぶ錦絵の揃物(浮世絵版画のシリーズ)で、そこには土地と人への愛着が滲み出た四季折々の風景が、鮮やかに描かれています。

18世紀中頃から人口100万人を超す世界屈指の大都市となった江戸は、異国人が目を見張るほど清潔で整備の行き届いた街でした。そんな「大江戸」の観光を“名所絵の広重”最晩年の傑作を通してお楽しみいただきました。

展示資料

No	作品	年代
1	名所江戸百景(日本橋雪晴)	幕末(安政3年5月)
2	名所江戸百景(する賀てふ)	幕末(安政3年9月)
3	名所江戸百景(大傳馬町こふく店)	幕末(安政5年7月)
4	名所江戸百景(下谷廣小路)	幕末(安政3年9月)
5	名所江戸百景(大てんま町木綿店)	幕末(安政5年4月)
6	名所江戸百景(鎧の渡し小網罟)	幕末(安政4年10月)
7	名所江戸百景(両ごく回向院元柳橋)	幕末(安政4年5月)
8	名所江戸百景(猿わか町よるの景)	幕末(安政3年9月)
9	名所江戸百景(廓中東雲)	幕末(安政4年4月)
10	名所江戸百景(千住乃大はし)	幕末(安政3年2月)
11	名所江戸百景(兩國橋大川ばた)	幕末(安政3年8月)
12	名所江戸百景(大はし阿たけの夕立)	幕末(安政4年9月)
13	名所江戸百景(永代橋佃し満)	幕末(安政4年2月)
14	名所江戸百景(駒形堂吾孺橋)	幕末(安政4年1月)
15	名所江戸百景(上野清水堂不忍ノ池)	幕末(安政3年4月)

No	作品	年代
16	名所江戸百景(上野山志た)	幕末(安政 5 年 10 月)
17	名所江戸百景(品川御殿や満)	幕末(安政 3 年 4 月)
18	名所江戸百景(南品川鮫洲海岸)	幕末(安政 4 年 2 月)
19	名所江戸百景(飛鳥山北乃眺望)	幕末(安政 3 年 5 月)
20	名所江戸百景(王子不動乃瀧)	幕末(安政 4 年 9 月)
21	名所江戸百景(王子瀧乃川)	幕末(安政 3 年 4 月)
22	名所江戸百景(浅草金龍山)	幕末(安政 3 年 7 月)
23	名所江戸百景(木母寺内川御前栽畑)	幕末(安政 4 年 12 月)
24	名所江戸百景(増上寺塔赤羽根)	幕末(安政 4 年 1 月)
25	名所江戸百景(亀戸梅屋舗)	幕末(安政 4 年 11 月)
26	名所江戸百景(柳し満)	幕末(安政 4 年 4 月)
27	名所江戸百景(亀戸天神境内)	幕末(安政 3 年 7 月)
28	名所江戸百景(堀切の花菖蒲)	幕末(安政 4 年 5 月頃)
29	名所江戸百景(綾瀬川鐘か洩)	幕末(安政 4 年 7 月)
30	名所江戸百景(せ起口上水端はせ越庵椿や満)	幕末(安政 4 年 4 月)
31	名所江戸百景(玉川堤乃花)	幕末(安政 3 年 2 月)
32	名所江戸百景(目黒元不二)	幕末(安政 4 年 4 月)
33	名所江戸百景(上野山内月のまつ)	幕末(安政 4 年 8 月)
34	名所江戸百景(小奈木川五本まつ)	幕末(安政 3 年 7 月)
35	名所江戸百景(八景坂鎧掛忝)	幕末(安政 3 年 5 月)
36	名所江戸百景(蒲田の梅園)	幕末(安政 4 年 2 月)
37	名所江戸百景(馬喰芋初音乃馬場)	幕末(安政 4 年 9 月)
38	名所江戸百景(神田紺屋町)	幕末(安政 4 年 11 月)
39	名所江戸百景(高田乃馬場)	幕末(安政 4 年 2 月)
40	名所江戸百景(深川三十三間堂)	幕末(安政 4 年 8 月)
41	名所江戸百景(請地秋葉の境内)	幕末(安政 4 年 8 月)

企画展示

企画展「日本の彩 息づく伝統色 ～大観・松園・清方 他～」

開催期間

2021年 2月 27日(土)～6月14日(月)

作品点

58点

協力

一般財団法人 国際芸術財団

展示概要

日本人は古来、自然の中に繊細な色を見出し、暮らしの中に取り入れ、豊かな情趣を愛でてきました。それらは絵画、染織、工芸、詩歌、文学等の中に今も深く息づいています。本展では、江戸時代から近・現代にいたるまでの浮世絵や絵画、着物や工芸品などに見られる「和の色」を、その由来や風雅な名前とともにご紹介しました。



展示作品

No	作品名	作者名	年代
1	沼津千本松原	池田遙邨	大正～昭和
2	京の町	磯田長秋	大正時代頃
3	晴日	伊東深水	昭和 16～17 年
4	御点前	伊東深水	昭和 30 年頃
5	わか葉頃	上村松園	昭和 14 年頃
6	桃花	上村松篁	
7	春秋屏風	小野竹喬	大正 5 年頃
8	桜花美人	門井掬水	昭和初期
9	雄鶏	金島桂華	昭和 44 年
10	権八小紫	鐔木清方	昭和初期
11	今様浅妻船	鐔木清方	昭和 13 年頃
12	群鶴図	加山又造	昭和 55 年～平成元年頃
13	四月の頃	郷倉千靱	昭和 28 年

No	作品名	作者名	年代
14	菜果図	小林古径	大正～昭和 32 年
15	聖徳太子絵巻	作者不詳	鎌倉時代
16	四季草花図屏風	宗達工房	江戸前期(寛永 7～17 年頃)
17	舞妓	寺島紫明	昭和 40 年頃
18	潮汲	鳥居清忠	
19	牡丹睡猫	速水御舟	大正 15 年
20	凧	東山魁夷	昭和 15 年
21	武将	前田青邨	昭和 5 年頃
22	小春日和	前田青邨	大正～昭和 52 年
23	ハッ橋	牧進	昭和 40～50 年代
24	花菖蒲	松下和代	平成 3～4 年
25	溪瀑	山口蓬春	昭和 35 年頃～46 年
26	乾坤耀く	横山大観	昭和 18 年
27	海浜	横山大観	明治 36 年
28	春光	吉川弘	昭和～平成年
29	三世坂東三津五郎	歌川国久	江戸後期(享和～文化)
30	柳下縁台納涼美人	作者不詳(奥村派)	江戸中期
31	遊歩美人	作者不詳(葛飾派)	江戸後期
32	雪中傘さし美人	作者不詳(菊川派)	江戸後期
33	文を書く女	作者不詳(近世初期風俗画)	江戸前期
34	吉田屋	作者不詳(正徳・享保期諸画人)	江戸中期(正徳～享保頃)
35	人形を持つ遊女と禿	作者不詳(西村・石川派)	江戸中期
36	立ち美人	千江	江戸後期
37	若侍	鳥園斎 栄深	江戸後期(寛政～享和頃)
38	千代能	月岡雪鼎	江戸中期(明和 2～安永元年)
39	若衆立姿	西尾主馬之祐	江戸時代
40	隅田川と美人	春木南湖	江戸中期～後期
41	立ち美人	菱川吉左衛門	江戸前～中期
42	志野茶碗 銘「紫雲」	加藤唐九郎	昭和 57 年
43	志野茶碗	加藤景秋	
44	小模様散らし文着物	芹沢銈介	昭和 13 年
45	麦	山内一生	平成 4 年頃
46	青瓷合子	若尾経	昭和～平成年

No	作品名	作者名	年代
47	二代目小佐川常世の一平姉 おさん	東洲斎写楽	江戸後期(寛政6~7年頃)
48	半切 赤地青海波〔能装束〕		平成10年
49	赤頭〔能装束〕		平成10年
50	摺箔(半箔) 赤地青海波〔能装束〕		平成10年
51	腰帯 赤地乱用〔能装束〕		平成10年
52	鉢巻 赤地金欄〔能装束〕		平成10年
53	乱扇		平成10年
54	能面(猩々)		平成10年
55	白無垢〔花嫁衣装〕小森家家紋(地文起こし)		明治
56	振袖表紫地 青海波に鴛鴦(地紋起こし)裏桃色地 扇面に松花(地紋起こし)曼珠菊刺繍		明治
57	振袖表薄茶地 渡り鳥(染めに刺繍)太口綿ふき青地に波文様		明治
58	振袖表裏松葉色地 雲(地紋起こし)		明治

企画展「守谷隆一写真展」

開催期間

2021年2月27日(土)~6月14日(月)

作品点

26点

協力

一般財団法人 国際芸術財団

展示概要

守谷隆一は乗鞍岳山頂で息をのむ光景を前に、ひとり数億年来の悠久と下天の人間の小ささを想って以来、日本の四季、天の創造を撮り続けた写真家です。

眼に見えぬ大きな力に動かされ無心でシャッターをきった彼は、風景のなかに現れてくる日本の伝統色を、古来日本人の自然観を表現した“襲色目”として発表しました。本展では、写真集の中より約26点を展示致しました。



展示作品

No	作品
1	乗鞍剣ヶ峰(長野県)
2	楼観橋杭岩(和歌山県串本)
3	雪がふる白川郷(岐阜県)
4	幽玄上高地(長野県)
5	彩流善五郎の滝(長野県安曇野)
6	昂城山(岐阜県中津川市)
7	宵桜名古屋城(名古屋市)
8	春らんまん本郷の桜(奈良県大宇陀)
9	静雅木祖村(長野県)
10	白川郷(岐阜県白山連峰)
11	阿騎野(奈良県大宇陀)
12	乗鞍剣ヶ峰(長野県)
13	乗鞍剣ヶ峰(長野県)
14	乗鞍剣ヶ峰(長野県)
15	汀曲白浦海岸(三重県海山)
16	緑衣瀨峡(奈良県)
17	白界乗鞍高原(長野県安曇野)
18	幽谷阿騎野(奈良県大宇陀)
19	曙阿騎野(奈良県大宇陀)
20	天美高ボッチ高原(長野県)
21	残り柿(愛知県作手)
22	碧映乗鞍高原(長野県安曇野)
23	愁路奥志賀林道(長野県)
24	阿騎野(奈良県大宇陀)
25	乗鞍剣ヶ峰(長野県)
26	静瀧不易の滝(長野県)

企画展「須田剋太展」

開催期間

2021年 6 月 19 日(土)～9 月 6 日(月)

作品点

37 点

協力

一般財団法人 国際芸術財団



展示概要

力強く奔放なタッチが特徴の画家・須田剋太は、司馬遼太郎の「街道をゆく」の挿絵画家として広く知られています。独学で絵を学び「文展」や「日展」で入選を重ねますが、絵を積極的に売ろうともせず、なり振り構わぬ貧乏生活を謳歌しました。抽象画にのめり込み、道元の禅に目覚め、再び具象画に戻るなど、常に自己変革を続け、終生童心を持ち続け破壊と創造に徹した画家でありました。本企画展では、当館のコレクションから天衣無縫・須田剋太の魅力を紹介しました。

展示作品

No	作品	年代
1	億劫刹那	平成元年
2	地獄	昭和 62 年
3	激破貫通	平成元年
4	華嚴	平成 2 年
5	隙間	昭和 61 年
6	蟻	昭和 63 年
7	根源	
8	蓬萊窮鼠	昭和 59 年
9	醉芙蓉花	平成元年

No	作品	年代
10	遊女	平成元年
11	桜	昭和 58 年
12	ビセンテ岬	昭和 58 年
13	一枚岩	昭和 58 年
14	ドリアン	昭和 58 年
15	山	
16	神戸夜景	昭和 58 年
17	牡丹(赤)	昭和 58 年
18	静物	昭和 58 年
19	おにぎり	昭和 63 年
20	日本海	平成元年
21	甲山	
22	黒い太陽	平成元年
23	なり切る	昭和 63 年
24	茶	昭和 58 年
25	天	昭和 61 年
26	○△□	
27	愚徹	昭和 61 年
28	大道	平成元年
29	陶仏	昭和 58 年
30	北條石仏	昭和 41 年
31	NO,205	
32	NO,200	
33	抽象	
34	抽象画	昭和 37 年
35	裸祭若者	昭和 46 年
36	男の横顔	
37	壁美人	昭和 59 年

企画展「矢立と墨彩画」

開催期間

2021年 9 月 16 日(木)～12 月 16 日(木)

作品点

22 点 矢立多数

協力

一般財団法人 国際芸術財団



展示概要

矢立とは筆と墨壺を組み合わせた携帯用筆記用具のことで、その名は、鎌倉時代に戦場での筆記に備えて小型の硯と筆を箆(矢立)の中に入れて携帯し、この硯を「矢立の硯」と呼んだことに由来します。成り立ちから、中国からの輸入品でなく、日本独自に発明されたものといえます。

一方、東洋の絵画描法の一つ・墨絵には、墨の濃淡やぼかし、にじみなどによって対象を表現する水墨画や、水墨画の技法を元に顔彩で着色された墨彩画があります。

初公開する当館所蔵の矢立を、墨絵、水墨画、墨彩画と共にお楽しみいただきました。

展示作品

No	作品	作者	年代
1	富士	小川芋銭	大正 11 年頃
2	日之出と大黒像	荻原 井泉水	大正 10 年頃
3	童子龍乗仙人図	尾竹国観	明治 30 年代
4	黒馬	狩野益信	江戸中期(元禄)
5	梅に鷹之図(打なびき)	狩野師信(梅笑)	江戸後期(寛政 7 年)
6	鳴戸	狩野安信(永真)	江戸前期(寛文 2 年～貞享 2 年)
7	山村積雪	川合玉堂	明治末頃
8	天竺牡丹之図	岸田劉生	大正 11 年
9	雲錦鉢図	北大路魯山人	昭和 10 年代
10	妙義	小泉智英	昭和 55 年
11	鐘馗	小杉放庵	大正 15 年
12	聖観音図	澤田政廣	大正～昭和

No	作品	作者	年代
13	雪中山水	高久靄崖	江戸後期(天保 9 年)
14	松芝萬年	富岡鉄斎	大正 5 年
15	白衣観音	中村不折	昭和 5 年頃
16	秋趣	橋本雅邦	明治 10 年頃
17	緑陰間屋図	松林桂月	明治～昭和 33 年
18	芦葉達磨図	宮本武蔵	江戸初期(寛永 17 年頃～正保 2 年)
19	陶場清趣之図	棟方志功	昭和 37 年
20	山下煙樹図	村上華岳	大正 7 年頃～昭和 14 年
21	浅峰山水図	村瀬秋水	明治元年
22	至誠通天	北村西望	昭和 62 年

普及活動

一般向け活動

実施にあたって

美術館・博物館が行う教育は、展示のほかに講演・講座をはじめとする多様な形態の学習支援活動がある。さらに、興味・関心を引き出す手法を開発したりアミューズメント性を高めることで、幼児から高齢者まで誰もが気軽に自発的に学習し、知を愉しむことのできる場となる。当館のレプリカ作り、ストラップ作りは、前年同様楽しく学び、美術館・博物館に親しみを感じていただく事を目的とする。

体験学習

持ち帰り用 アンモナイトレプリカ作りキット！

日 時 令和3年2月～8月
(土・日・祝日)

参加者 34名

参加費 200円

内容

対面による体験学習の実施が困難なことから、持ち帰り用のアンモナイトレプリカ作りのキットを作成。

キット内容は、樹脂で作成した雌型、石こう20g、作り方説明書。前年に引き続き、体験学習開催中止期間に対応。

レプリカストラップづくり！

日 時 令和3年4月29日～12月
土、日、祝日、GW、お盆期間

場 所 図書コーナー

対 象 4歳以上

参加者 780名

参加費 各100円



内容

アンモナイト、三葉虫、巻貝の化石から取った型の中からいずれかを選び、2色の樹脂を入れてガラスの装飾をし、レプリカを作る体験学習。

状況

4月29日より体験学習を再開。巻貝の型を入れたことにより、女性の参加者、リピーターが増加。

ビーズ付きまがたまストラップを作ろう！

日 時 令和3年3月～12月
(土日祝日、GW、お盆期間)

場 所 地下図書コーナー

対 象 小学1年生以上

参加者 709名

参加費 100円



内容

カラフルなオープン粘土で作った勾玉に紐を通し、ビーズをトッピングしてストラップを作る体験学習。

状況

昨年同様、感染症対策の兼ね合いから空間の広い図書コーナーを使用した。参加者・担当者とも手指消毒を行い、器材・テーブルなども使用前後に消毒を行って実施した。

外部連携活動

□出張美術館

教育普及活動の一環として、市内小学校に所蔵美術品を持ちこみ、児童・生徒が本物を直接見ることで優れた作品から感動、喜びを体験してもらうことを主眼として開催した。18年目となる本年、新型コロナ感染防止の観点から、版画体験の割愛、参加児童同士の距離を保つなど感染防止対策をとりながら出張美術館を行うことができた。

持参作品

〔小学校〕

『東海道五十三次』…………… 歌川広重

神奈川・台之景

沼津・黄昏図

由井・薩埵嶺

鞠子・名物茶店

嶋田・大井川駿岸

草津・名物立場

〔中学校〕

『ほととぎすと遊女』…………… 駿斎連馬

『名所江戸百景』…………… 歌川広重

深川八まん山ひら起

両國船中浅草遠景

外桜田弁慶掘糶町

四ツ木通用水引ふ祢

日本橋江戸橋

芝愛宕山

実施校一覧

No.	学校名	開催日	曜日	時限	時間	クラス 人数	実施場所
1	新宮小学校	10月19日	(火)	5-6時限	13:50-15:30	1組 35名 2組 35名	3階図工室 2階家庭科室 2階理科室
2	荘川小学校 荘川中学校	11月9日	(火)	1-4時限	8:30-12:20	小学5・6年 12名 中学1年 12名 中学2・3年 22名	荘川中学校 1階 美術室
3	西小学校	11月16日	(火)	3時限	10:35-11:20	1組 34名	2階 マルティエ
4	花里小学校	11月30日	(火)	3-4時限	10:15-11:55	1-2組 47名	1階 図工室
5	江名子小学校	12月7日	(火)	2-3時限	9:30-11:25	1-2組 44名	2階 図工室
6	宮小学校	12月7日	(火)	6時限	13:30-14:15	1組 20名	2階図工室
7	東小学校	12月8日	(水)	2-3時限	10:25-11:10	1組 28名 2組 30名	2階 第2理科室 6-1 6-2
8	国府小学校	12月14日	(火)	2-3時限	9:30-11:25	1組 33名 2組 34名	1階 図工室
9	山王小学校	12月15日	(水)	2-4時限	9:10-12:05	1組 32名 2組 32名 3組 31名	3階 図工室
10	久々野小学校	12月17日	(金)	4時限	11:30-12:15	A組 26名	3階 English ルーム

No.	学校名	開催日	曜日	時限	時間	クラス 人数	実施場所
11	北小学校	12月20日	(月)	2-4時限	9:15-12:10	1組40名 2組39名 3組40名	南舎1階 図工室
12	三枝小学校	12月20日	(月)	5時限	13:55-14:40	1組20名	3階 図工室
13	南小学校	12月21日	(火)	5-6時限	10:30-11:15	1組37名 2組37名	1階 図工室
14	丹生川小学校	12月23日	(木)	3時限	10:40-11:25	1組37名	3階 図工室
15	清見小学校	12月23日	(木)	5-6時限	13:40-14:25	1組24名	2階 図工室

※学年の表記がない場合、小学校は6年生、中学校は3年生

学校数 15校

受講人数 783名

□学校連携活動

○岐阜女子大学 書道部練成会

会期:令和3年8月31日(火)～9月2日(木)

内容:

岐阜女子大学書道部に練成会会場を提供。学生はミュージアムの見学と作品制作を行った。また、練成会后、学生が制作した作品30点を1階ホールに展示した。

参加者:

教授6名、生徒46名

その他連携活動

○地域お仕事発見隊

日時:令和3年7月31日(土)、8月1日(日)、7日(土)

高山市内在住の小中学生が地元企業の「お仕事体験」をするプロジェクトに当館も参加し、下記の通り実施した。

実施日	参加者	実施内容
7月31日(土)	小学生3名	体験学習の接客・指導員のお手伝い
8月1日(日)	中学生2名	美術展示の実習・展示解説のお手伝い
8月7日(土)	小学生3名	体験学習の接客・指導員のお手伝い



資料貸出

美を競う肉筆浮世絵の世界

花巻市博物館 2021/4/24-6/6

山口県立萩美術館 2021/7/3-9/5

パラミタミュージアム 2021/10/2-11/14

高崎市タワー美術館 2022/1/29/3/21

資料名	作者名	制作年月日
三味線ひく坐女	作者不詳(菱川派)	江戸前期(元禄)
立ち美人	古山師政	江戸中期(寛保～延享)
立ち美人	作者不詳(懷月堂派)	江戸中期(正徳～享保)
二世中村七三郎	東川堂里風	江戸中期(享保)
立ち美人	梅翁軒永春	江戸中期(正徳～享保)
遊女と猫	梅翁軒春信	江戸中期(正徳～享保)
奈良春日若宮社祭礼絵巻	西川照信	江戸中期(正徳)
立ち美人	宮川長春	江戸中期(正徳～享保)
柳下布さらし	宮川長春	江戸中期(宝永～寛延頃)
見立琴高仙人	宮川長春	江戸中期(正徳～享保)
桜下美人	宮川一笑	江戸中期(元文)
鐘馗と美人	宮川一笑	江戸中期(元文末期～寛保)
蚊帳美人	宮川長亀	江戸中期(享保～寛保)
色子立姿	山崎龍女	江戸中期
遊女と禿	勝川春水	江戸中期(宝暦～明和)
見立遣唐使	川又常行	江戸中期(享保末期～寛保)
精霊流し	川又常正	江戸中期(寛保～宝暦)
遊歩美人	作者不詳(西村・石川派)	江戸中期(寛保～宝暦)
鼓打つ女	寿香亭吉信	江戸中期(宝暦頃)
唐美人	司馬江漢	江戸後期(天明)
歯を磨く美人	磯田湖龍斎	江戸後期(天明)
縁先に座る娘と金魚鉢を持つ少女	至信(西村・石川派)	江戸中期(安永中期頃)
立ち美人	鳥居清倍	江戸中期(正徳～享保)
遊女と禿	二代鳥居清元	江戸後期(寛政)

資料名	作者名	制作年月日
雪中傘さし美人	二代鳥居清満	江戸後期(文化～弘化)
追い羽根	東艶斎花翁	江戸中期(寛保～寛延)
精霊祭	川枝豊信	江戸中期(享保)
雛人形を抱く遊女	月岡雪鼎	江戸中期(明和初期)
見立曾我十郎と虎御前	月岡雪鼎	江戸中期(明和 2 年)
男舞	月岡雪鼎	江戸中期(明和末期～安永 7 年頃)
遊女	月岡雪鼎	江戸後期(天明 2-3 年)
夕暮れの庭	墨江武禅	江戸中期(安永)
美人遊戯	月岡雪斎	江戸後期(寛政～天保10年)
大原女	作者不詳(京洛諸画人)	江戸後期(天保～慶応頃)
紐を結ぶ女	祇園井特	江戸後期(文化年間)
子守り	祇園井特	江戸後期(文化12年)
遊女と禿	大石貞虎	江戸後期(文政)
花吹雪	三畠上龍	江戸後期(天保)
紅葉の下	吉原真龍	江戸後期(天保～弘化)
汐汲みの舞	吉原真龍	江戸後期(天保～弘化)
潮干狩	吉原真龍	江戸後期(天保～弘化)
物思う女	周幽斎夏龍	江戸後期(寛政～文化頃)
舞姫	昌盛	江戸後期(天保以降)
ほろ酔い	喜多武清	江戸後期(享和～嘉永)
両国花火	作者不詳(江戸諸画人)	江戸後期(文政～天保)
美人と達磨	勝川春章	江戸後期(天明 7-8 年)
金太郎	勝川春英	江戸後期(享和～文化)
弁慶	勝川春英	江戸後期(享和～文化)
湯上り美人	勝川春扇	江戸後期(文化 3～文政 2 年頃)
春風歌妓歩行	勝川春常	江戸中期(安永 6-天明 7 年)
月を見る美人	北尾重政	江戸後期(天明～寛政)
螢狩り	岩瀬京水	江戸後期～幕末(文政～安政)
桜下美人	窪俊満	江戸後期(文化)
雨乞小町	窪俊満	江戸後期(享和～文化)
雪見美人	水野廬朝(北尾派)	江戸後期(寛政)
遊女と禿	琴風舎豊麿	江戸後期(寛政)
南駅の女	作者不詳(鳥山・喜多川派)	江戸後期(文化頃)
旅の女	喜多川藤麿	江戸後期(享和～文化前期頃)
母と子	喜多川行麿	江戸後期(文化)
萩と女	喜多川月麿	江戸後期(享和頃)
傘持つ美人	喜多川吉麿	江戸後期(文化)
座敷の二美人	喜多川長麿	江戸後期(文化～文政)
遊女	恋川春政	江戸後期(享和～文化)
小野小町	鳥文斎栄之	江戸後期(寛政)
浅草歳の市	鳥文斎栄之	江戸後期(文化)
芸者立姿	一貫斎栄尚	江戸後期(寛政～文化)

資料名	作者名	制作年月日
遊女と禿	玄珠斎栄暁	江戸後期(文政)
浴後美人	高田栄晃	江戸後期(文化)
遊女	礪川亭一指	江戸後期(文化)
円窓の三美人	鳥園斎 栄深・島 君山	江戸後期(寛政)
立ち美人	溪斎英泉(菊川派)	江戸後期(文政)
遊女と禿	歌川豊春	江戸後期(寛政)
立ち美人	歌川国政	江戸後期(寛政 8 年頃)
立ち美人	歌川国安	江戸後期(文政頃)
三囲の三代目尾上菊五郎と芸妓 (左)	歌川国次	江戸後期(文政頃)
三囲の三代目尾上菊五郎と芸妓 (右)	歌川国次	江戸後期(文政頃)
爪切り	歌川国宗	江戸後期(文政頃)
犬と遊ぶ美人	歌川国宗	江戸後期(文政頃)
杜若と美人	歌川国宗	江戸後期(文政頃)
三味線の稽古	歌川国勝	江戸後期(天保～弘化)
秋色女	歌川国英	江戸後期(文政頃)
簾をあげる女	歌川国重	江戸後期(文政頃)
母と子	歌川国久	江戸後期(文化)
虫を採る女	歌川国久	江戸後期(文化前期)
遊女と禿	歌川豊広	江戸後期(寛政)
遊女	鳥羽広丸	江戸後期(文化後期)
月夜雁を聴く女	歌川広重	江戸後期(安政前期)
渡月橋	二代歌川広重	江戸後期(安政～慶応元年)
足洗い	歌川貞景	江戸後期(文政～天保)
二美人	歌川貞秀	江戸後期(天保)～明治初期頃
遊女と禿	歌川国歳	明治初期頃
五俳優	豊原国周	明治 3～6 年
縁台美人	歌川国芳	江戸後期(嘉永)
桜下美人	月岡芳年	幕末(慶応)～明治初年頃
日蓮	葛飾北斎	江戸後期(文化 8～文政 3 年)
日	葛飾北斎	江戸後期(寛政 12～文化 5 年)
龍	葛飾北斎	江戸後期(寛政 12～文化 5 年)
月	葛飾北斎	江戸後期(寛政 12～文化 5 年)
豫譲	葛飾北斎	江戸後期(弘化 3 年)
浅妻舟	葛飾北斎	江戸後期(文化～文政)
田植え	蹄斎北馬	江戸後期(文化～天保)
桜下美人	蹄斎北馬	江戸後期(文化～文政 5 年)
ほととぎすと遊女	駿斎連馬	江戸後期(文化～文政)
遊女道中	昇亭北寿	江戸後期(寛政～文化)
遊女に憧れる女	抱亭五清(北鷺)	江戸後期(文化頃～天保 6 年)
菊を愛でる美人	抱亭五清(北鷺)	江戸後期(文化～文政)

資料名	作者名	制作年月日
娘と従者	柳々居辰斎	江戸後期(寛政後期～文政)
行燈美人	葛飾北明	江戸後期(文化～文政)
燈台	葛飾為直	江戸後期(天保～安政)
見立普賢菩薩	葛飾為直	江戸後期(天保～安政)
二つ枕	葛飾雷周	江戸後期(文化～文政頃)
炭竈図	歌川広重	江戸後期(安政前期)
桜下遊女と禿図	歌川豊國	江戸後期(寛政中期)
若衆と美人図	宮川一笑	江戸中期(元文～享保)

貞政少登遺墨展「墨彩の軌跡」

上野の森美術館 2021/6/20-11/30

資料名	作者名	制作年月日
浄光	貞政少登	昭和 62 年

開館 1 周年記念展「上村松園」

京都市京セラ美術館 2021/7/17-9/12

資料名	作者名	制作年月日
四季美人図	上村松園	明治 25 年
美人之図	上村松園	昭和 12 年
紫式部図	上村松園	大正 4～昭和 4 年頃

「書之美、書の価値 ～つたえるということ～」

春日井市道風記念館 2021/9/11-10/3

資料名	作者名	制作年月日
和歌	近衛信尹	安土桃山～江戸前期
藜杖全吾道	池大雅	江戸中期(享保 15～安永 5 年)
墨木の文	千利休	天正 15～19 年

令和3年 光ミュージアム 年報 第13号

令和4年3月31日発行

編集・発行 光ミュージアム

〒506-0051 岐阜県高山市中山町 175

TEL 0577-34-6065

FAX 0577-34-6065

<http://h-am.jp>